



2024 年度環境保全活動報告

2025 年 4 月 1 日

日本ガス(株)鹿児島工場

目的	実施項目及び達成状況
エネルギーの有効利用	① 省エネ施策の推進 ・自家使用量(電気・ガス・燃料油等)の削減 ...3ヶ年の累計削減量目標:36.3kL(原油換算量) 2023~2024 年度の削減量累計 29.5kL (2ヶ年累計 CO2 排出量 4,346 t) ・原油換算量の算出方法 = 電力使用量、ガス使用量、油類使用量を熱量換算した量 [GJ] 原油換算係数(原油 1kL 当たりの熱量) [GJ/kL] ＜今年度のエネルギー削減状況の総括＞ ・今年度は、電力使用量が約 50,000kWh、管理棟の自家ガス使用量(主に GHP)が約 1,000m3 目標より多かった。 原因としては、夏場の高温による BOG 発生量増加による BOG 圧縮機稼働が多かったことと、冬場の低温による空調使用量の増加が原因と推測される。 ただし、熱調用の温水使用量減少による温水ボイラ稼働低下で自家ガス使用量が約 10,000m3 減少したこと、発電機用重油の使用量減少により 2024 年度の一年間では原油換算量で 11.3kL 削減となった。 エネルギー使用量(原油換算量)推移 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の 振興をつくろう
	1. 超大型台風を想定した操業及びローリー出荷の対応指針策定 ・昨年度作成した指針を基に、超大型台風接近時を想定した停電訓練を計画、OP 各班にて実施済み。 ・訓練後、各班の意見を集約、分析して設備改善費用について見積を実施。 2. 桜島噴火警戒レベル引上げから大噴火を想定した操業 ・9/24 に桜島噴火警戒レベル引き上げに伴う降灰対応訓練を実施済み。 ・訓練後に挙がった課題を整理、指針改訂(案)の作成、空温式気化器養生シートを自社作成中。 ・降灰対策作業実施に必要な作業員の人数及び時間を算出、緊急呼び出し基準制定に活かす。 3. 新通信システム導入と活用による事故・トラブル防止 ・鹿児島工場 DX 環境整備のための新通信システム導入工事を実施、不具合に対するソフトプログラム修正などを経て、年度内に完工済み。  防爆スマートフォン(通信用) 通話設備(CCR 室用) 4. デジタル技術を活用したスマート保安 ・PLM(プラントロギマイスター)作業日誌の運用を開始、改善点や修正点について対応済み。 ・モバイル点検のスリム化を実施し、効率良い点検方法に改善済み。 ・PLM 版運転管理指示書の運用に向けて、既存の運転管理指示書のうち優先度の高いものから順次改訂見直しを実施中。

目的	実施項目及び達成状況
機能強化	1. LPG取扱量の増加対応 ・3号出荷設備の増強工事について、無事故で完工済み。 ・LPG業務定例会議を定期的開催、作業上の問題点等についての意見収集、改善を実施。 ・LPGローリー車充填作業の効率化のため、3レーン同時積込についてトライアル実施。 設備、作業員共に問題ないため9/2より本運用開始。 ・供給逼迫時の対応等について、総合企画チーム及び日本ガスエネルギー殿と協議。 2. 脱炭素エネルギーの取り扱い研究 ・本社他部署と共に発電タスクフォースを立上げ、定例会議に参加。 ・同業他社の現状についてヒアリングを実施、非常用自家発電機的能力、更新方法を検討中。 3. DXを活用した更なるデジタル技術の情報収集 ・同業他社におけるLNGローリー配送システムについてヒアリングを実施。 ・メーカーと配送自動化システムについて打合せを実施し提案資料を受領。提案内容について 本社DX推進チームと協議、今後の進め方について検討を実施。 ・経済産業省の次年度補助金事業への申請を検討、補助金対象外事業者であったため申請を断念。
	1. 水質・大気汚染等の防止 ・・・油脂類漏洩・流出、付臭剤流出・漏洩、不良品質ガス送出 1件 →4/2 LNGローリー車安全弁からのLNG放出 ①油脂類漏洩緊急処置訓練実施 →対象者：従業員、構内保全業者、警備業者 合計21名 想定：自家発電機室内重油タンクよりA重油が漏洩し雨水により、海上へ流出。(1/15実施) ②付臭剤漏洩、不良品質ガス送出緊急処置訓練実施 →対象者：従業員、構内保全業者 合計17名 付臭剤漏洩による、不良品質ガス送出の恐れがある場合を想定し実施。(1/22実施) 付臭剤添加ユニット使用方法の確認 2. リスクアセスメント責任者の選任及び保安管理に関する適切な基準・評価の規定と継続的な運用 ・リスクアセスメント責任者に出口係長選任、新たにリスクアセスメント調査表を作成して運用を開始。 PLM作業計画書運用については、現在トライアル中で意見・要望を集約して改善後運用開始予定。 3. 構内緑化活動 ・構内樹木の剪定等による既存緑地の整備及び構内枯れ木の抜根作業
	1. 環境・エネルギーに関する教育への協力や社外環境イベントへの参加 ・施設見学対応(年間4件以上) →植物工場及び鹿児島市南部清掃工場バイオガス設備と併せて同業他社、 行政関係者、需要家などに加え、今年度より学校PTAや大学生インターンシップなど 一般見学者の申し込みも増加。3月末時点で57件受入済み。 ・鹿児島工場の環境活動(門前清掃等)について、定期的にFacebookを利用して情報発信を実施。 2ヶ年累計 86件 ※昨年度6月で目標達成済み 2. 門前清掃の実施 ・・・年間4回以上 →門前清掃 6/12、9/6、12/12、3/21 : 計4回(延べ83名参加) ※構内工事業者へ声掛けを実施し御協力いただいた。 2ヶ年累計 9回 3. エコキャップ活動 ・・・年間17,200個以上回収 ・従業員への協力の依頼実施 2ヶ年累計 41,567個 →家庭からの持ち込み等、エコキャップ回収に御協力いただき、3月末時点で19,370個回収済み。